

◎ 現行計画の振り返りと次期計画策定に向けた課題整理

	振り返り	次期計画策定に向けて
計画構成 記載内容	<ul style="list-style-type: none"> 本市の現状や、関連・上位計画の情報、公共交通に関する現状などといった基礎情報を計画本文に多く記載した結果、計画全体の分量が大きくなりすぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画本体は、方針・施策・実行内容の記載に特化 現状などの基本情報は、参考資料として整理する
計画運用 進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> 施策の進捗状況を確認する指標が無く、施策の実施状況を把握することが難しかった。 また、計画に位置付けた施策について、計画期間が長いこともあり、「いつ」「どのようなこと」を実施するのか、あまり明確に記載されていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の進捗管理を確認できる評価指標を設定する。 次期計画に記載する施策について、毎年度どのようなことを実施するか、ある程度明確化する。 次期計画期間は、現行計画より短期間とし、計画期間中の見直しも適宜実施する。
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標の目標値について、現実目線での設定であったことから、控えめな設定となっており、作成主体の意気込みに欠ける印象を抱かせるものだった。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標は、現計画をそのまま引き継がず、見直しを行い、目標値設定にあたっては、先に改定された「熊本県地域公共交通計画」などを参考とする。



これらの振り返りを踏まえ、次期計画では「分かりやすさ」や「実効性」、「柔軟性」を重視した計画としたい。

◎ 次期計画策定にあたっての基本的な考え方

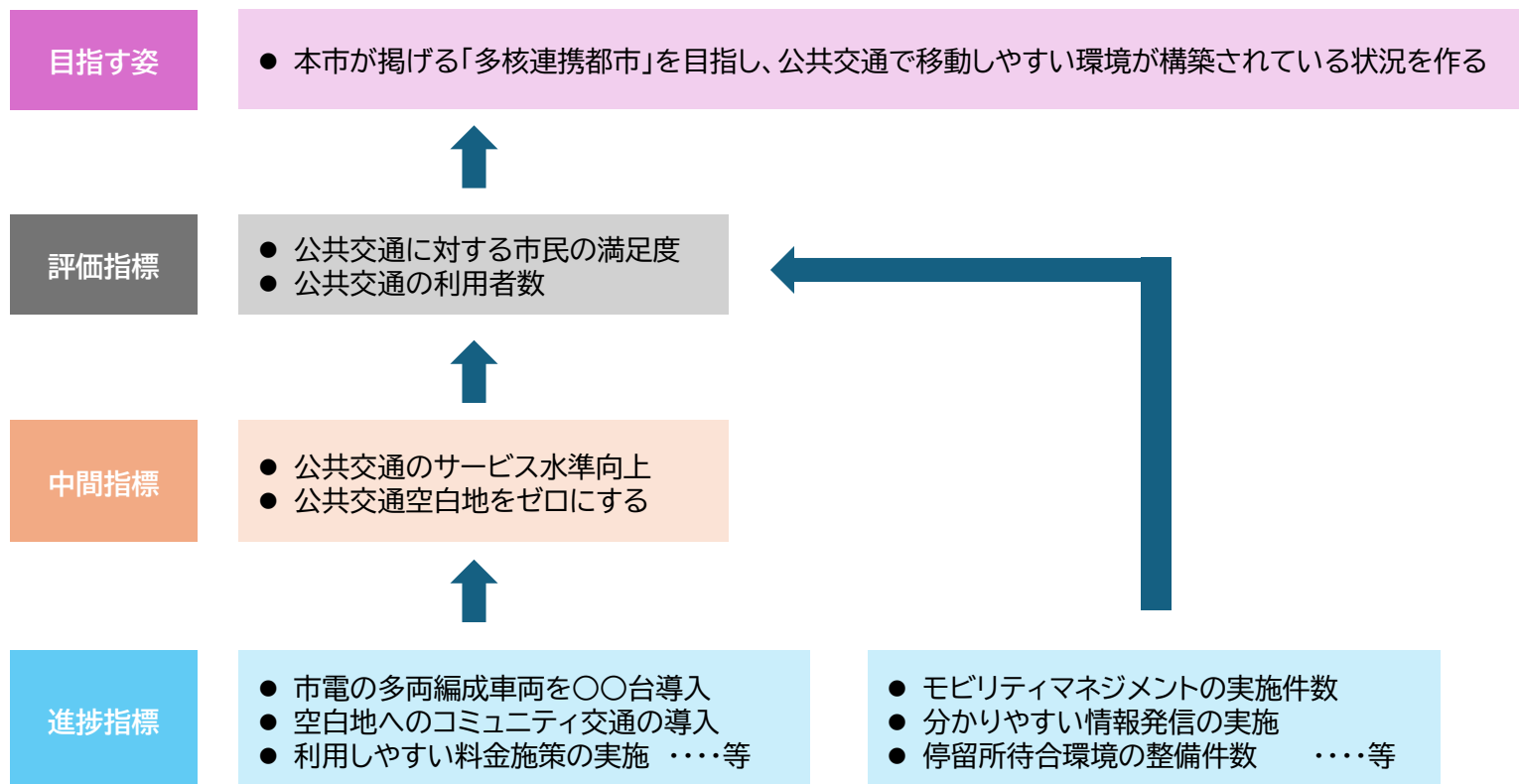
あくまで現時点での想定であり、今後の検討のなかで修正する可能性はある。

- 現計画の反省点、国が示す「地域公共交通計画アップデートガイダンス」、社会情勢の変化や周辺情報等踏まえ、以下のような考え方のもと次期計画を策定する。

<p>計画構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画本体は、「本編」+「参考資料編」の2部構成とし、本市のやりたいことが読み手に伝わるようシンプル構成とする。 本体とは別に、計画に記載した施策に関して、毎年度、年間スケジュールを記載する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【本編】 計画本体</p> <p>第1章 はじめに 第2章 基本方針と目標 第3章 基本方針に沿った具体施策 第4章 計画の推進体制</p> <p>【参考資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状や課題認識、上位・関連計画の概要などの基礎・関連情報を記載。 </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">+</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>【策定後の年度スケジュール】 アクション編</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画に記載した施策について、毎年度どのようなスケジュールを実施するか記載。 </div>	<p>検討対象モード</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鉄軌道、路線バス、タクシー、コミュニティ交通といった従来から存在するモードのほか、<u>本市の交通網を支える「シェアサイクル」</u>を加える。
		<p>評価指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市が目指す将来像に近づいたことを確認する指標(※)の他、<u>計画に位置付けた施策の進捗状況を確認するための指標を設定する。</u> また、<u>目標値設定にあたり、新「熊本県地域公共交通計画」等との整合を意識する。</u> <p>【※指標として想定されるもの】 イメージはP3</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共交通の利用者数 ✓ 公共交通に対する市民の満足度 など
<p>計画期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間は5年とする。 なお、社会情勢の変化に柔軟に対応し実効性のある計画とするため、<u>内容の見直しは1年おき</u>に実施する。 	<p>計画に記載する施策</p>	<p>【目安実施時期の明確化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画に記載する施策には、5年間のスケジュールを記載する。 <p>【アクションプランとしての機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実効性の担保および進捗管理の観点から、毎年度、1年間にどのようなことを行うのか計画本体に追記し、「いつ」「何が行われるのか」明確化する。 <p style="text-align: right;">記載イメージはP4</p>
<p>計画区域</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市域を計画区域とする。 本市のみを計画区域とするものの、本市に近接する地域との連携は視野に入れた内容とする。 	<p>国庫補助の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ交通の運行経費に関する国庫補助(フィーダー補助)等、<u>国庫補助事業が活用を視野に、記載内容を調整。</u>

◎ 評価指標の考え方

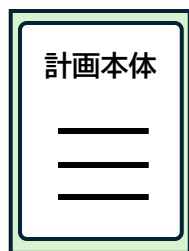
- 指標を、「評価指標」「中間指標」「進捗指標」の3つに分ける。
- 「進捗指標」には、計画に位置付けた各施策の実施に関する目標指標(○を■回実施する等)を、「中間指標」には施策を実施したことでもたらされる効果を、「評価指標」には、目指す将来像に近づけたかを図る指標を設定する。



↑ 計画に位置付けた施策ごとに、進捗指標を設定する想定。

◎ 施策の記載イメージ

- 計画策定時点では、各施策の年度ごとのスケジュールを明示する。
- 加えて、計画に位置付けた施策について、毎年5月頃に、年間のスケジュールと取組概要を記載した「アクション編」を公開する。
- これにより、「いつ」「何が行われるのか」、ある程度明確化され、施策の進捗状況や振り返りがしやすくなることが期待できる。



R8d末策定

施策名	〇〇の導入・検討				
取組内容	• 〇〇の導入に向け、……を行う。(計画期間中(5年間)の取組概要を記載)				
実施主体	熊本市、〇〇、▲△				
実施時期	R9	R10	R11	R12	R13
	取組内容 検討	関係者間 調整	導入		



★各年度の「スケジュール」「やること」見える化
(毎年度5月頃に、各施策の「アクション編」を公開)



毎年度作成

施策名	〇〇の導入に向けた検討	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 〇〇の導入に向け、R9年度は、■●について検討し、次年度以降の実施に向けた準備を行う。 <p>((想定)実施時期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ～6月 検討のための委託業者選定・契約 7～2月 〇〇に関する検討・結果のとりまとめ 2～3月 次年度の事業方針を固める 	

1年間のやる
ことを明示

◎ 次期計画策定に向けた協議会開催スケジュール

今後の進捗により、開催時期や協議内容に変更が生じる可能性はある。

- 計画に関する議論は、親会をメインに議論する。そのため、令和8年度の親会開催回数は、5回程度を予定。

★親会

